



平成20年4月18日

各 位

会社名 株式会社角川グループホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼COO 佐藤 辰男
(コード番号9477 東証第一部)
問合せ先 取締役統括マネジャー 梶田 敏夫
(TEL 03-3238-8710)

減損損失の発生に関するお知らせ

当社は平成20年3月期連結会計年度において、下記のとおり固定資産の減損損失を計上いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 複合映画館(シネコン)5件に係る固定資産

連結子会社角川シネプレックス(株)が保有する複合映画館(シネコン)は、各シネコンを1資産グループとしておりますが、「シネプレックス旭川」「シネプレックス水戸」「シネプレックス幸手」「シネプレックス新座」及び「シネプレックス熊本」の5物件の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、22億円の減損処理を行います。

2. 連結子会社角川シネプレックス(株)取得に係るのれんの未償却残高

平成17年3月期と平成18年3月期に段階的に実施した日本 Herald 映画(株)(現在は連結子会社角川映画(株)の1部門として事業を承継)の取得によって、同社子会社の角川シネプレックス(株)を取得しておりますが、前項の事由が発生したため、その取得に係るのれんの未償却残高13億円の減損処理を行います。

3. 連結子会社(株)アスキーが保有する固定資産

連結子会社(株)アスキーは、会社全体を1資産グループとしておりますが、その保有する固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、1億円の減損処理を行います。

4. 連結子会社(株)アスキー取得に係るのれんの未償却残高

平成16年3月期に実施した(株)メディアリーヴス(現 連結子会社)の取得によって、同社子会社の(株)アスキーを取得しておりますが、前項の事由が発生したため、その取得に係るのれんの未償却残高5億円の減損処理を行います。

以上により、合計42億円の減損損失を、平成20年3月期連結会計年度において特別損失に計上いたします。

※ 本件が連結業績に与える影響については、本日付で開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上